

分光光度計

FastGene™ NanoView

Cat.No. FG-NP02

キャリブレーションプロトコル



1. 序文

本資料では、FastGene™ NanoView (FG-NP02) 分光光度計の光路長と吸光度のキャリブレーションの手順を紹介いたします。

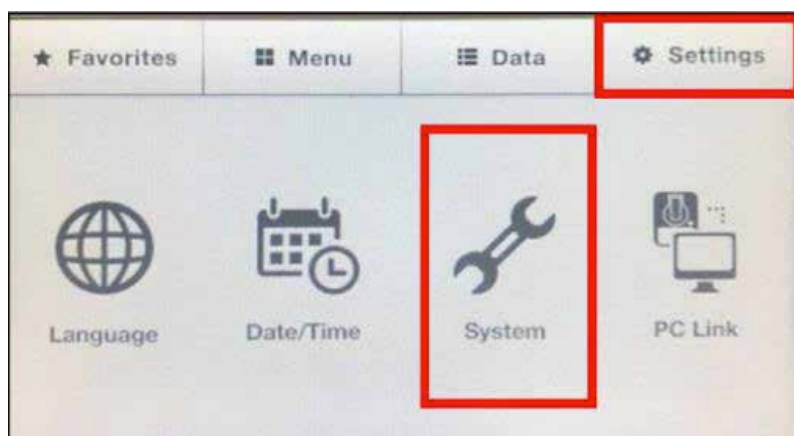
2. 準備

以下の物品を用意してください。

1. FastGene™ NanoView 本体
2. 脱イオン水
3. 標準校正溶液 (FG-NPSC02) のアンプル

3. 光路長と吸光度のキャリブレーション

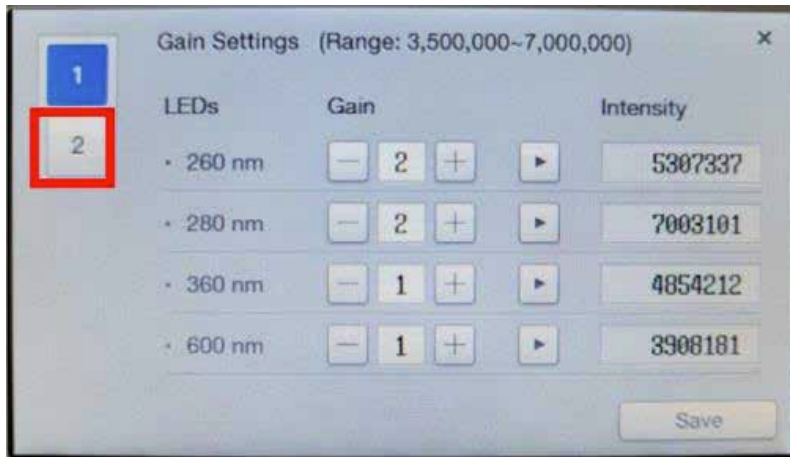
1. デバイスの電源を入れ、「Settings」タブを押して「System」を押します。



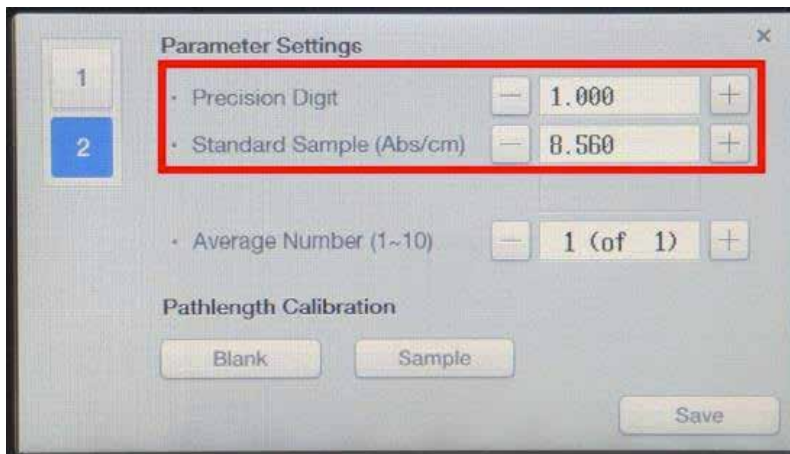
2. 「LED Cal.」 ボタンを押します。



3. 左メニューの [2] ボタンを押します。



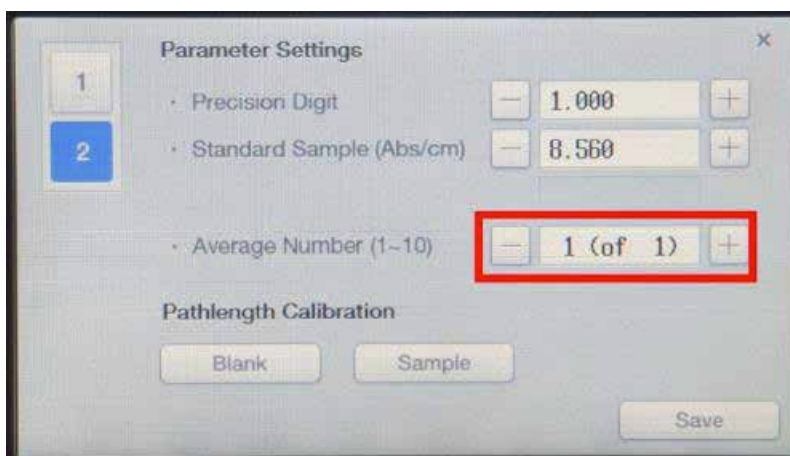
4. 「Precision Digit」で入力変更する桁数を指定し、「Standard Sample (Abs/cm)」の欄に、標準校正溶液のアンブルに記載されている吸光度 (Abs/cm) を入力します。
※入力方法については、「4. 「Standard Sample」 への数値入力方法」を参照してください。



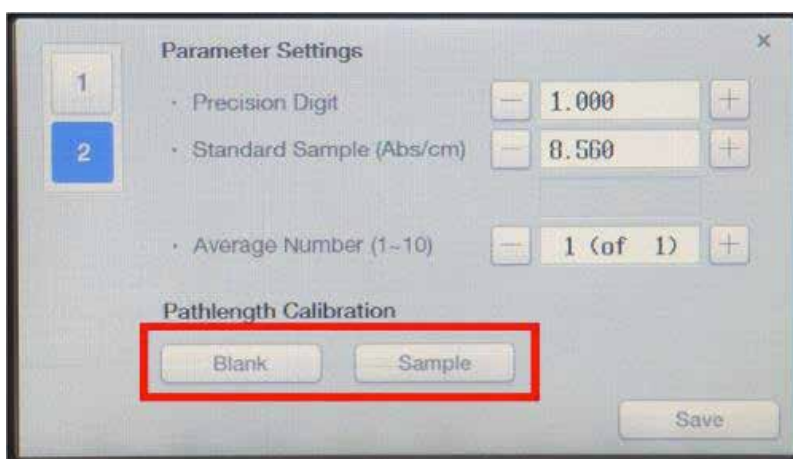
5. キャリブレーション作業時の測定回数を入力してください。

入力可能な回数は 1 ~ 10 回です。推奨回数としては 5 回以上となります。

※ 本機器はキャリブレーション作業時のハンドリングエラーの影響をなくすため、平均値から外れ値を除外（トリム）する「刈り込み平均（トリム平均）」を採用しております。測定値の除外範囲は 20% です。



6. 台座に 2 μ L の脱イオン水をセットし、台座表面をリントフリーのラボワイプでやさしくふき取ります。(洗浄作業)
(注：台座表面に汚れがある場合は、何度も清掃を行い、台座を清潔にしてください。)
7. 再び、台座に 2 μ L の脱イオン水をセットし、「Blank」ボタンを押して測定します。
8. 測定後に台座をラボワイプでやさしく測定後サンプルをふき取ります。
9. 開封した標準校正溶液 2 μ L を台座にセットし、「Sample」ボタンを押して測定します。
※標準校正溶液はアンブルタイプとなります。開封の際は安全の為、付属の Safety Ampoule opener をご利用ください。
(注：アンブルを開く前に、アンブルを穏やかに振り、液体がアンブルの首部分に残らないようにしてください。)
10. 測定後に台座をラボワイプで優しくふき取り、設定した回数まで標準校正溶液での測定を繰り返してください。
※ [Sample] 測定の途中で [blank] を押すと、カウントがリセットされます。



11. 全測定終了後に、画面に「Done.」のメッセージが表示されることを確認してください。
12. [Save] ボタンを押して、測定したキャリブレーションファクターを保存します。
画面上に「Flash Write OK」と表示されることを確認してください。

4. 「Standard Sample」への数値入力方法

• 入力変更する桁の切り替え方法

「Precision Digit」の [+] または [-] ボタンを押して、入力したい桁数を設定できます。

※ Precision Digit の欄で「1」で示される桁の数を変更することができます。下図の場合、一の位の数値を変更できます。

• 入力されている数値の変更方法

「Standard Sample」の [+] または [-] ボタンを押して、入力されている数値を変更できます。

